

日々の田高（進路講演会「3年生の受験体験を聞く会」）

今回は、3月17日に、1・2年生を対象に行われた進路講演会「3年生の受験体験を聞く会」を紹介します。

先日卒業した73期卒業生6名と、一年前に卒業した大学1年生の72期卒業生1名が、1・2年生に向けて話をしました。

73期生からは、「自分が目指していた大学を受験するとき、その大学を第一志望にしている人ではなく、その一つ上の大学を目指している人を意識して、受験に臨まないといけないこと。」「英検準一級を取得することで、英語の試験についてのアドバンテージが得られるため、その分の時間を現代文の時間に充てることができた、英検などの資格を取ることがとても良いこと。」などのお話がありました。

現在大学1年の72期生からは、自分の大学の時間割を紹介し、どのような時間軸で学生生活しているのか、イメージを持たせてくれました。

様々な視点から、受験に関する示唆をもらえた有意義な時間でした。

本校生徒は、メモを書いたポロニア手帳を見返して、日々の生活に生かしてください。これから入学して来るみなさんは、上記の言葉を意識して、高校生活のスタートをしてほしいです。



【1・2年生の振り返りシート（講演会の感想）から】

大学受験は高校受験よりはるかに難しく忍耐力も必要だし、一年以上頑張らなくてはいけないと思ったけど、それ以上に自分のやりたいことに向けて努力して勝ち抜いた先輩たちはカッコよく見え、自分も頑張ろうと思うきっかけになりました。勉強だけでなく高校しかできない行事などもあると思うので、それもおろそかにしないようにと思いました。（1年生）

第一志望を変えない、落とさないで努力し続けることがとても大切なことだと思った。自分の志望校の1ランク上を目指して安心して受験できるように勉強していきたい。部活動など、何かを継続してきたことは受験に役立つと分かったため、今までの自分を信じて頑張りたい。（2年生）